



タカネグンナイフウロ  
木曾駒ヶ岳  
千畳敷カールにて  
柴田 伸治さん

# 尾張健康友の会 ニュース

発行責任者 尾張健康友の会 会長 水谷 龍雄  
〒491-0815 一宮市千秋町塩尻山王7-5  
☎0586-76-8312 FAX0586-76-9424  
ホームページ <https://www.chiaki.com/>

2025年6月 NO.445

2025年4月現在 友の会員数 4,907(内社員数790)

## 第47回尾張健康友の会総会を開催

記念講演「ノーベル平和賞授賞式報告」に49人が参加



友の会員が集まった総会会場

5月17日(土)に、第47回尾張健康友の会総会を開催しました。総会は、友の会会長の上平安秋氏、千秋病院事務長の米澤和幸氏のあいさつで始まりました。友の会事務局長の水谷龍雄氏が2025年度友の会総会議案と役員体制(下表)を提案し、一括承認されました。

総会の記念講演には、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)代表理事の金本弘さん、日本被団協二世委員会副会長の太田義則さんを迎え、「ノーベル平和賞授賞式報告」を聴きました。

### 被爆体験に涙

金本さんはわずか9か月の時に、広島で爆心地から2・5kmの距離で被爆しました。

金本さんは、自身の体験を15歳離れたお姉さんに伝わりました。

から伝え聞きました。最近になって分かったそうですが、意識を失った金本さんを父親が懸命に叩いたり水につけたりして命を救ったとのこと。父親は被爆から2年後、いわゆるピカドン病で亡くなったそうです。

当時の様子を再現した絵で分かりやすく説明されました。思い出しては何度も涙をぬぐう金本さんの様子から、壮絶な体験であったことが会場で伝わりました。

### ノーベル平和賞 授賞式

金本さんは30名の代表団として、大村さんは50人の同行団として授賞式に参加しました。大村さんは被爆二世で、父親の体験を語り継いでいます。

日本被団協がノーベル平和賞を受賞したのは、長崎・広島の被爆者による草の根運動で核兵器のない世界の実現に向けた努力、特に核兵器が二度と使われてはいけない理由を、身をもって立証してきた功績が評価されたからです。

被爆者の皆さんは「今日の聞き手は明日の語り部」を合言葉にして、核



授賞式を紹介するパネル展示も



日本被団協の金本さんと(右)と大村さんが記念講演



日本被団協の金本さんと(右)と大村さんが記念講演

### 特定健診・がん検診受付中

健診を受けていきいき元気に

### いのちの相談所

6月11日 於・のわみ相談所

### 2025年度尾張健康友会定期社員総会

■日時 6月22日(日)  
13時30分~16時(予定)  
■会場 ケアハウスちあき1階

### ■議事

- 第1号議案 社員 入社承認について
- 第2号議案 2024年度事業活動報告について
- 第3号議案 2024年度決算報告について
- 第4号議案 剰余金処分について
- 第5号議案 監事監査報告について
- 第6号議案 理事及び監事選任について
- 第7号議案 尾張健康友会グループ中長期計画について

### 最後に

大村さんは「国連憲章に記されたように話し合

世界の中のメディアが集まる機会を逃すまいと、ノルウェーの国会議事堂前で市民に折り鶴を手渡したり、平和の歌を歌ったそうです。特に金本さんは紋付き袴で授賞式に登場し、メディアの視線を集めました。

### 授賞会場オスロにて

兵器のない世界を目指して周りに伝えていきます。

### 2025年度 尾張健康友の会 役員

|     |           |      |             |
|-----|-----------|------|-------------|
| 会長  | 水谷 龍雄(尾西) | 名誉会長 | 鍵谷 恒夫(一宮西部) |
| 副会長 | 鈴岡 久枝(千秋) | 顧問   | 吉田 日支雄(稲沢)  |

|                      |           |       |            |
|----------------------|-----------|-------|------------|
| 事務局長                 | 上平 安秋(千秋) | 事務局次長 | 中井 智佳子(職員) |
| 事務局員: 社会活動部 中尾・谷口・鈴木 |           |       |            |

| 支部/地域  | 千秋支部   | 一宮西部支部 | 尾西支部   | 岩倉支部  |
|--------|--------|--------|--------|-------|
| 幹事     | 柴田 とし子 | 武藤 恒義  | 多々見 範子 | 堀尾 金雄 |
|        | 堀 正子   |        | 岩田 康夫  | 吉永 三郎 |
|        | 青山 文代  |        | 藤井 保   | 吉安 光二 |
|        |        |        |        |       |
| 稲沢支部   | 北名古屋支部 | 江南支部   | 丹陽支部   | 西成地域  |
| 吉田 日支雄 | 花田 政司  | 川村 弘   | 池山 三男  | 石田 香澄 |
| 大角 守   | 早川 雅澄  |        | 河村 清子  |       |
| 山岸 専吾  | 恒川 繁子  |        | 坂本 和代  |       |
| 湯浅 典久  |        |        |        |       |
| 渡辺 幸保  |        |        |        |       |

※太字は新規 ※各支部の役員は4面に紹介  
※水谷新会長のあいさつは5面「ひと」に紹介



久しぶりに  
映画を観た。  
松坂桃李主演  
『雪の花』。  
コロナ蔓延の  
頃に読んだ原作小説の映  
画化だった。そこでは二  
つの「ひたむきさ」が胸  
に迫った▼江戸時代末  
期、主人公の町医者「疱  
瘡(天然痘)」流行予防  
の種痘を幾多の障害を乗  
り越え世に広めた。外国  
から取り寄せ、効能を説  
き、「牛の膿だ。角が生  
えるぞ」などの風評をは  
ねのけながら種痘の苗を  
各地に行き渡らせた。そ  
の「ひたむきさ」▼もう  
一つは原作者、吉村昭の  
「ひたむきさ」。この実  
話を文獻で確かめ、足ど  
りの村々を隈なく取材  
し、埋もれた事実を掘り  
起こす取材魂。彼の小説  
『戦艦武蔵』の取材力も  
驚愕だった。巨大戦艦を  
秘密裏に製造する過程が  
その始まりから没するま  
で、ち密な資料・取材で  
裏付けられる。関わる人  
間模様の事実が語られ、  
無垢な犠牲者が描かれ  
る。何とおろかなことに  
人々は「ひたむき」だっ  
たか▼映画は猛吹雪の峠  
で種痘の苗を隣藩に引き  
継ぐ人々を描く。命の花  
を絶やさず咲かそうとす  
る群像だ。命を軽んじる  
「ひたむきさ」は真平御  
免。

(ゴン)